



食料・農業・農村基本計画策定

～国民全体で農業・農村を支える社会へ～

新年度がスタートしました。いよいよ新政権下における新しい予算の執行と、この考え方に沿った制度・政策が始まります。

22年度予算においては、公共事業は削減する一方で、地方経済に配慮して地方交付税を大幅に増額したほか、社会保障関係費の増額、子ども手当、高校無償化の創設など、「地方」と一人一人の「人」を大切にする政策に重点を置いています。

農林水産省においても、わかりにくい事業を整理・統合した上で、直接農家の経営を支援する政策に予算を重点配分しました。その一つが「戸別所得補償モデル対策」です。

また、農政の大転換を明示した「食料・農業・農村基本計画」が3月30日に閣議決定されました。これは、「食料自給率50%の達成」を掲げ、食料の安定供給の確保は国家の最も基本的な責務であること、食料・農業・農村政策を日本の国家戦略の一つとして位置づけるべきことを宣言し、大幅な政策の転換を図ることとしました。次の3つの新しい政策を基本に、国民全体で農業・農村を支える社会の創造を目指します。

① 戸別所得補償制度の導入

小規模農家も含めて、意欲ある全ての農業者が将来にわたって生産を継続し、経営発展に取り組める環境を整備し、再生産可能な農業経営の基盤を作る政策へ転換します。



4月1日 除幕式
戸別所得補償モデル対策の加入受付開始。

② 「品質」、「安心・安全」といった消費者ニーズに適った生産体制への転換

消費者目線に立って、「後始末より未然防止」の考え方を基本とし、食品供給行程の徹底管理などに正面から取り組みます。

③ 6次産業化による活力ある農山漁村の再生

バイオマスなどの資源と産業を結び付けたり、農山漁村で新たな雇用の場所と所得を生み出せるよう、意欲ある人々の努力と創意工夫を後押しします。地域の直売所や朝市なども、6次産業化のさきがけといえます。

新たな「食料・農業・農村基本計画」は、国民が将来に向けて明るい展望を描くことができるよう、「食」と「地域」の早急な再生を図ることを目的としています。

農業の持つ様々な役割、良質な水・空気を生み、多様な生物を育むこと、水源かん養、景観や伝統文化の継承、国土保全への貢献などは、農村で農業が営まれることによって発揮されます。そして、これらの恩恵は、都市部に住む人々を含め、すべての国民が広く享受しています。

こうした役割に対して、広く皆様のご理解をいただきながら、現場の皆様のお声もしっかりと受け止め、新しい政策の推進に積極果敢に取り組んで参ります。ぜひたくさんのご意見、ご質問、ご要望などをお寄せください。

※6次産業化とは、農林水産物だけでなく、農山漁村に存在する土地、水その他の資源を有効に活用して、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業（食品加工など）、3次産業としての小売業等の事業との融合を図る取組みです。1と2と3は、足してもかけても「6」ですが、何がかけても成り立たない、という意味から、 $1 \times 2 \times 3 = 6$ で6次産業です。

参議院議員 舟山 やすえ

地域の方々が立ち上げてくれた新しい後援会

皆様ありがとうございます!!
ごぞいます!!

■ 11月29日

「舟山やすえを支援する会・長井支部」

長井市後援会は農家、労組、企業人、地方議員など、様々な分野の皆様によって設立されました。



■ 3月22日

「しらたか・舟山やすえ後援会」

白鷹町後援会は党派を超えた方々のご尽力により設立されました。



■ 4月3日

「舟山やすえ 山辺後援会」

置賜地区以外で初めての山辺町は小国町、白鷹町からも代表が参加され、和気あいあいの会になりました。



■ 4月11日

「舟山やすえを支援する会・飯豊支部」

2月20日設立の飯豊町は、吉村知事、後藤町長をお招きし、町民ホール満員の国政報告会となりました。





夏の参議院選挙 **梅津ようせい**さんを応援します!

いよいよ夏の参議院選挙が近づいてきました。
民主党山形県連は3月8日、次期参議院議員
山形選挙区の公認候補者として、山形市出身の
梅津ようせいさんの擁立を決定しました。

梅津さんは今年の3月に防衛省を退職し、ふるさと山形への熱い想いを胸に、希望と活力に満ちた社会づくりのために出馬を決意されました。私と同年で同期入省です。国民の安心と安全の確保のために長年働いてきた梅津さんは、まさにふるさとの代表として、国政を担うにふさわしい方です。この夏は、明るく誠実な梅津さんと共に、皆様のご支持を求め県内を駆け回ります!ぜひ温かいご声援のほど宜しくお願いいたします。



▲3月22日 梅津候補予定者と街宣

YASUE DIARY フォト記録

PHOTO DIARY

▶▶2月22日 高知視察



国有林・民有林の視察。

▶▶2月25・26日 パリOECD (経済協力開発機構) 農業大臣会合



世界36カ国の農業大臣が集まりました。

▶▶2月27日 パリ国際農業
見本市視察



"JAPON"のブースで日本酒を試飲。

視察・出張

▶▶3月2日 FOOD EX JAPAN2010
オープニングセレモニー



▶▶4月19日 中南米各国大使との
農業体験視察

◀FOOD EX JAPAN 2010のオープ
ニングセレモニーに出席しました。

国会活動



▶▶3月10日 農山漁村女性の日
記念の集い

第23回農山漁村女性の日 記念の集いに
出席し挨拶をしました。

▶▶3月11日 岩手県知事要望来訪



岩手県知事が来訪し、チリ大地
震津波被害に関する要望を伺
いました。

農業改良資金法質疑 ▶
に対して答弁しました。

▶▶4月1日 農水省入省式



▶▶4月1日 農水委員会



4月14日
日本農業新聞掲載

「大きな実を付けて」と授粉作業
する舟山政務官 (13日、東京・国
会議事堂の庭園で)

山形県東京事務所は13日、東京
都千代田区の国会議事堂内庭園で
恒例のサクラボ人工授粉作業を
行った。授粉したのは庭園内に植
栽し、開花を迎えた「紅秀峰」と
「ナボレオン」。同県から持ち込
んだ紅きやかの花粉を付けた。
民主党の和嶋未希氏 (衆・比例東
北)、公明党の渡辺孝男氏 (参・比
例) も駆け付け、一しかり実を
付けて」と精力的に作業した。赤
いサクラボを見て、議員には地元
を思い出してほしい。また、
全国から集まる議事堂の来場者に
県の特産をPRしたい (流通対
策課) と期待する。

地域交流

▶▶3月28日 食と農の再生会議山形



▲食と農の再生 山形市霞城公園にて二千
会議山形の農政 人を越える参加者の皆さん
懇談会に出席し と雇用の確保や参院選の
勝利を誓い合いました。▼

▶▶4月29日 2010山形県中央メーデー

舟山やすえ ホームページ 随時更新中です!
<http://www.y-funayama.jp/>

舟山やすえ通信
を発行しています!

■お申し込み

[FAX配信ご希望の方] 023-627-2781

[メール配信ご希望の方] office@y-funayama.jpまでお名前・電話
番号・FAX番号又はメールアドレスを明記の上、お申し込みください。

民主党山形県参議院選挙区第1総支部
民主党 舟山やすえ事務所

■国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館526号室
TEL 03-3508-8526 FAX 03-5512-2526

■山形事務所 〒990-0034 山形市東原町3-10-10 国井ビル 2F
TEL 023-627-2780 FAX 023-627-2781